

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2012
3


交通安全年間スローガン(内閣府特命担当大臣賞、優秀作)ー運転者(同乗者を含む)に対するものー

慣れた道 思わぬ危険が かくれんぼ



赤レンガ倉庫と豪華客船

ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(2月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成24年		5,589	21	6,573
平成23年		6,083	21	7,248
増減数		-494	±0	-675
増減率		-8.1	±0.0	-9.3

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,057,742	4,540,417	4,517,325
免許人口	5,514,686	3,217,034	2,297,652
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成24年2月1日、免許人口は平成24年1月末)

春の全国交通安全運動

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールを守り交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

1 実施期間

平成24年4月6日(金)～
4月15日(日)の10日間
〈交通事故ゼロを目指す日
4月10日(火)〉

2 スローガン

◆安全は、心と時間の ゆとりから
◆新入学児童・園児を交通事故から守ろう

3 運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

4 運動の重点

- 自転車の安全利用の推進(特に、自転車安全利用5則の周知徹底)
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶
- 二輪車の交通事故防止

5 交通安全協会の運動の進め方

- キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- 交通指導員等による街角アドバイザーを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。

交通安全シンポジウム開催

～長寿社会の交通安全はどうあるべきか～

神奈川県内では、昨年 38,800 件の人身交通事故が発生し、交通事故ゼロまで、まだまだ遠い道のりです。そこで、長寿社会を明るく元気に過ごすための安全で安心な道路交通について、公益財団法人神奈川県交通安全協会会長の石坂浩二さんをはじめとしたパネリストの方々による、ドライバーと歩行者、それぞれの目線から考えるシンポジウムを開催することにしました。皆様も会場で一緒に考えてみませんか？



日時
平成24年4月8日(日)
午後2時00分～午後4時00分

場所
慶應義塾大学日吉キャンパス第4校舎独立館
(東急東横線 日吉駅下車すぐ)



コーディネーター

公益財団法人国際交通学会 専務理事
石附 弘 氏

パネリスト

神奈川県知事・神奈川県交通安全対策協議会 会長
黒岩 祐治 氏
公益財団法人神奈川県交通安全協会 会長
石坂 浩二 氏
神奈川大学工学部経営工学科 講師
堀野 定雄 氏
神奈川県交通安全母の会連合会 会長
市村小夜子 氏
神奈川県警察本部長
久我 英一 氏



緊急!

参加者募集!!!

入場は無料です!ただし、事前申し込みが必要です。お名前・連絡先を、FAXまたはお電話にてお知らせください。
なお、定員400名に達し次第、受付を締切らせていただきます。

お問い合わせは 神奈川県警察本部交通総務課安全係
電話:045-211-1212(代表)内線5087
FAX:045-662-5362
(電話受付は、午前8時30分から午後5時までです)

共催:神奈川県交通安全対策協議会・神奈川県警察・(公財)神奈川県交通安全協会

4月6日～4月15日

第43回交通安全子ども自転車神奈川大会
及び第1回交通安全高齢者自転車神奈川大会
大会出場チーム募集



昨年の大会



（公財）神奈川県交通安全協会及び神奈川県警察では、子どもと高齢者の自転車の安全な乗り方の向上と交通事故防止を目的としたそれぞれの自転車神奈川大会を次のとおり開催します。大会では、成績優秀選手及びチームを表彰するとともに、子ども自転車県大会に優勝したチームは8月1日（水）に東京のビッグサイトで開催される第47回子ども自転車全国大会に出場します。

●開催日時

平成24年7月7日（土）
午前8時30分から

●場所

横浜文化体育館（横浜市中区不老町2-17）

●申し込み先

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-12-15

（公財）神奈川県交通安全協会

TEL 045-478-0166

FAX 045-475-5524

●締め切り

平成24年6月8日（金）

●出場資格等

チーム編成、その他詳細については、右記県交通安全協会へお問い合わせください。

※今年から「交通安全3世代ふれあい自転車神奈川大会」に代

わつて、「交通安全高齢者自転車

神奈川大会」を開催すること

としました。

第43回二輪車安全
運転神奈川大会
出場選手募集

（公財）神奈川県交通安全協会及び神奈川県警察では、二輪車運転者の安全運転技能と交通マナーの向上を図り、交通事故を防止することを目的とした二輪車安全運転神奈川大会を次のとおり開催する予定で出場選手を募集します。

●開催日時

平成24年5月26日（土）
午前8時30分から

●場所

県運転免許試験場（横浜市旭区中尾2-3-1）

●出場資格

神奈川県内に住居または勤務先を有する方で、大会に出場する二輪車の運転免許を取得していること。

●競技クラス

- ・女性クラス（50CC未満のバイク）
- ・Aクラス（50CC以上400CC未満のバイク）
- ・Bクラス（400CC以上のバイク）
- ・Cクラス（50CC未満のバイク）

※Cクラスについては平成24年8月4日現在20歳未満の方で、高校生はCクラスに限る。参加は無料ですが、1人1クラスに限る。

●出場申込み方法等

●申し込み方法

警察、交通安全協会、二輪車販売店に備付けの「申込書」により、下記宛て郵送、FAX、又はメール

をお願いします。

●申し込み先

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-12-15

（公財）神奈川県交通安全協会

TEL 045-478-0166

FAX 045-475-5524

メール uketsuke@k-manner.or.jp

●締め切り

平成24年5月21日（月）。当日消印有効です。

●全国大会への出場

本大会上位入賞者の中から、全国大会（8月4日「土」、8月5日「日」三重県鈴鹿サーキット）への出場選手を選考し、特別訓練を行います。

企画安全委員会が
開催される

2月27日（月）、県交通安全協会会館において企画安全委員会が開催されました。

会議には、須藤委員長（神奈川県交通安全協会会長）をはじめ、委員10名の方々の出席を得て、平成24年度の県協会の事業計画等について活発な意見が交わされた中で、全ての案件が了承されました。主な審議案件は次のとおりです。

○平成24年度「公益財団法人神奈川県交通安全協会事業計画」について

○「第43回交通安全子ども自転車神奈川大会」、「第1回交通安全高齢者自転車神奈川大会」及び「第43回二輪車安全運転神奈川大会」について



昨年の大会

○「平成24年度二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」及び「平成24年度自転車安全教育指導者講習」の実施について



平成23年度交通安全ファミリー作文コンクール 入選作品の紹介

佳作 内閣府政策統括官賞



秦野市立
南小学校一年
まつい
松井 美桜
(敬称略)

「ひやっとしたいよ」

わたしは、じこにあいそ
うになったことがありま
す。

おばあちゃんとおまつ
りにいったかえりのこと
です。おばあちゃんがじてん
しゃをこいで、わたしはう
しろにのつていました。

しんごうがあおだったか
らおうだんほどうをわた
つていました。そうしたら、
くるまがひだりにまがつて
きました。かるくだけだ
じてんしゃにぶつかりまし
た。おばあちゃんはたおれ

内閣府、(財)全日本交通安全協会などでは、毎年、国民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を目的として、関係団体と共催し、関係省庁等の協力を得て、「我が家の交通安全」をテーマにした作文を募集していますが、平成23年度に行われたコンクールにおいて神奈川県から応募して入選された作品をご紹介します。

なかつたし、わたしもころば
なくてすみしました。でも、ひ
やっとしてこわかったです。

おとうさんやおかあさん
に「しんごうは、あおになっ
てからわたるんだよ。よく
しんごうをみてね。」と、い
われます。わたしも、おば

あちゃんもちゃんとしんご
うをみてあおだからわたつ
たのに、わたしがきをつけ
ていてもじこにあうことが
あるんだとおもいました。

いえにかえっておかあさ
んにこのはなしをすると、

おかあさんは、くるまのう
んてんをするとき、ひだり
にまがるときはきをつける
といっていました。そして、わ
たしがじこにあわなくてよ
かったといってくれました。

わたしがおとなになって、

くるまのうんてんをする
ようになったらぜったいに
きをつけようとおもいま
す。くるまのうんてんをし
ているみんなにもきをつけ
てほしいです。みんなでき
をつけたらこうつうじこが
0になるとおもいます。

平成24年度二輪車安全運転 講習会のお知らせ

神奈川県警察本部と神

奈川県二輪車安全普及協会
では、二輪車の事故を防止
するため、若者から中高年の
全ての二輪ライダーを対象に
安全運転講習会を開催して
います。白バイ隊員や二輪車
安全運転推進委員会の特別
指導員が実技を指導します。

●二輪車安全運転講習会

- ・主催：神奈川県警察本部
- ・協力：(公財)神奈川県交
通安全協会 神奈川県二
輪車安全普及協会
- ・開催場所：神奈川県自動
車運転免許試験場
- ・開催予定日：5月19日(土)、
6月23日(土)、10月13日(土)
11月10日(土)、12月15日(土)
の5回
- ・申込み等詳細は、



<http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesf0012.htm>

●グッドライダーミーティング

- ・主催：神奈川県二輪車安
全普及協会
- ・協力：神奈川県警察本部、
(公財)神奈川県交通安全
協会
- ・開催場所：神奈川県自動
車運転免許試験場または厚
木中央自動車学校
- ・開催予定日：4月21日(土)、
5月12日(土)、※7月16日(月)
※9月17日(月)、10月6日
(土)の5回
- ※印の開催場所は、厚木中
央自動車学校
- ・申込み問合わせは、03-
6902-18200
(二輪車安全普及協会)



道路交通法施行令及び道路交通法施行規則の一部改正について (その1)

●運転免許関係手数料の標準額の改正

(平成24年4月1日施行)

《主な改正例》※改正後の金額については、神奈川県条例が議決されていないため変更される場合があります。

	区 分	改正後	改正前	増減額
更新	優良運転者講習該当	3,100円	3,250円	-150円
	一般運転者講習該当	3,450円	3,600円	-150円
	違反運転者・初回更新者講習該当	4,000円	4,250円	-250円
	国外免許	2,400円	2,650円	-250円
	免許証の再交付	3,600円	3,650円	-50円
	普通自動車免許の取得に係る手数料(指定校卒)	3,850円	4,200円	-350円
	原付講習(原付免許を受けようとする者に対する講習)	4,200円	4,050円	-150円
	高齢者講習(75歳未満)(小特以外)	5,800円	5,800円	±0円

●運転経歴証明書制度の改正の概要

運転経歴証明書は、申請による運転免許証の取消し(運転免許証の有効期間内に自主的に返納することをいいます。)をした場合に交付申請できるもので、「過去5年間の運転等に関する経歴を証明するもの」です。

今回の改正では身分証明としての機能を充実させるため、次のように変わります。

交付申請することができる期間の延長

申請による運転免許証の取消しから

1月以内→5年以内に延長されます。

改正(平成24年4月1日)以前に自主返納した方で、運転経歴証明書の交付を受けていなかった方でも、返納してから5年間を経過していなければ申請することができます。

例:平成19年5月1日に自主返納した方の場合、平成24年5月1日まで交付申請が可能です。

※免許を失効させた方は申請できません。



新様式

記載事項の変更及び再交付の申請

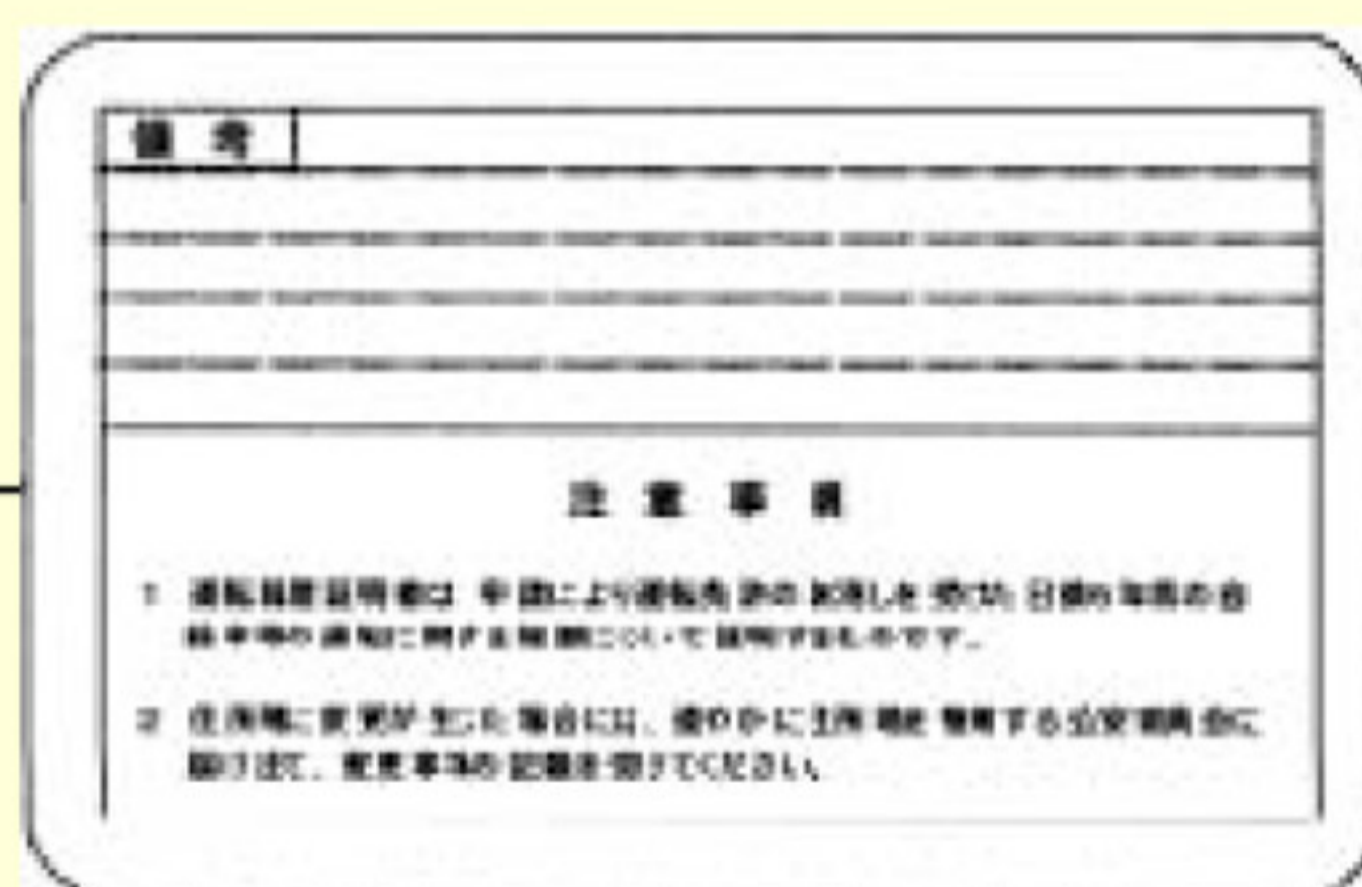
記載事項の変更及び再交付が可能になります。

〈記載事項変更〉

改正以後に交付された運転経歴証明書は、記載内容に変更が生じたときは、速やかに変更の届出をしなければなりません。

〈再交付〉

改正以後の運転経歴証明書は、紛失、破損等をしたときは、運転免許試験場で再交付することができます。



新様式への切替え

改正以前に交付された運転経歴証明書を新様式に切り替えることができます。

平成24年3月31日までに交付された運転経歴証明書をお持ちの方は、新しい運転経歴証明書に切り替えることができます。ただし、判読することができないものについては、申請による取消後5年を経過した場合、申請できません。

返納の義務化

再交付後に亡失した運転経歴証明書を発見したとき又は新たに免許を取得したときは、返納しなければなりません。



※改正及び各種申請等に関する詳細については、下記までお問い合わせください。

神奈川県警察本部交通部運転免許本部免許課

045(365)3111



ハンドルキーパー運動の紹介

その232 港南交通安全協会から

港南交通安全協会(高森政雄会長)は港南区安全安心まちづくり推進協議会と連携し、港南台駅前広場において交通関係団体、消防、防犯、の方々約100名が集合し、すみれの花鉢やチラシ、マスクなどを通行人等に交付しながら、ハンドルキーパー運動を軸とした飲酒運転根絶を呼びかけました。



その231 金沢交通安全協会から

金沢交通安全協会(横井正巳会長)では、京急金沢文庫駅前商店街において、「ハンドルキーパー運動、飲酒運転根絶」のぼり旗を携行し、各飲食店に対し、同ミニのぼり旗とチラシ等啓発グッズを配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践と飲酒運転の根絶を呼びかけました。



その234 横須賀交通安全協会から

横須賀交通安全協会(外崎信一会長)では、横須賀中央駅前において大根500本を配布しながら飲酒運転大根絶キャンペーンを展開するとともに、夜間に入ってから同駅前商店街に対し、ハンドルキーパーコースターやチラシなどを配布しながら飲酒運転の根絶を呼びかけました。



その233 麻生交通安全協会から

麻生交通安全協会(関口達雄会長)では、同区交対協等と連携し、県道世田谷町田線において通行するドライバーなどに、ハンドプレートで「ライト早め点灯」を呼びかけるとともに、「飲酒運転根絶トイレロール」等啓発グッズ入り袋を配布しながらハンドルキーパー運動の推進を呼びかけました。



その236 津久井交通安全協会から

津久井交通安全協会(諸角光雄会長)では、緑区役所鳥屋出張所前において、「ハンドルキーパー運動」のぼり旗を掲出し、ハンドルキーパーや飲酒運転根絶を内容とする短冊付折り鶴をドライバーに配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その235 相模原南交通安全協会から

相模原南交通安全協会(丸塚幾男会長)では、地域交通安全活動推進委員が主体となって、国道16号の警察署前ほか日と場所を変えて計5回、提灯や「ダメ飲酒運転」のハンドプレートを通行中の車両に示して飲酒運転の根絶を呼びかけました。



賛助会員の紹介

(株)相鉄エージェンシー	横浜市神奈川区栄町1-8
京濱港運(株)	横浜市神奈川区千若町2-1-50
神奈川福祉事業協会	横浜市神奈川区鶴屋町1-6-10
日産自動車(株)横浜工場	横浜市神奈川区宝町2
(株)ウミヤマ	横浜市鶴見区鶴見中央3-14-5
麒麟ビール(株)	横浜市鶴見区生麦1-17-1
朝日オフセット印刷(株)	横浜市鶴見区本町通1-22

湘南地区安協連合会研修の実施

湘南地区交通安全協会連合会(脇環会長)では、県交通安全協会高橋専務理事を招いて去る2月25日(土)、震災対策強化推進中の災害に強い街、静岡市清水区の清水港を視察、合わせて沼津の元御用邸を見学するなど研修会を実施して、連合会内9地区の会長、事務長の絆を深めて親睦と融和を図りました。



加賀町交通安全協会
会長
杉島 和二郎さん

すぎしま
わさぶろう

加賀町交通安全協会は、戦

後の混乱の中、昭和23年に発足し、横浜市中区の一角で、中華街、元町、馬車道の商店街、山下公園をはじめマリントワー、キングの塔(県庁)、ジャックの塔(開港記念会館)、クイーンの塔(横浜税関)のほか、横浜地方裁判所、検察庁、県警本部、横浜市役所などの官庁や銀行を多く抱え、国際都市ヨコハマの中心部に位置しています。

今回この地で、交通安全協会会長を務めております杉島和二郎さんをご紹介します。

杉島会長は昭和3年に地元元町で生まれ、早稲田大学理工学部卒業後、三菱重工業で環境装置の研究開発に携わり、昭和55年の退職後は環境システムエンジニアリング(株)を設立、また機械学会、環境衛生工業会、廃棄物学会の理事に就任し、その分野の第一人者として現在も活躍され

ています。

会長は平成8年に副会長、平成21年に第6代会長に就任され、地元横浜郷土研究会で郷土史の研鑽をされながら、元町自治運営会会長として横浜の歴史を踏まえた町づくり活動にも熱心に取り組みでられます。また、厳島神社の責任役員を務められ、毎年5月の交通安全祈願では、商店会と連携してタレントの高田純次さんをお招きして県警音楽隊を先頭にパレードをされるなど、斬新なアイデアで協会を常にリードし、交通安全意識の高揚に努力されているほか、減少するためのサービスマを提案し、平成21年から「第一交通機動隊白バイ隊の訓練見学」、平成22年「私のボランティア体験講演会聴講」、平成23年「神奈川県警察学校見学」を実施するなど、その事業は会員に大好評で、次回を楽しみに

にしている会員も多く、大きな成果を上げています。

技術者でもある会長は、「交通事故は人為的な要因が大であり、“ゼロ”にすることは不可能ではない。不特定多数の人が加害者にも被害者にもなる交通事故には、無限の努力が求められている。」を理論とし、会員の力を結集するべく心血を注いで活躍されており、こうした発想や長年の功績が認められ、本年1月に交通栄誉章緑十字銀章を受章されました。

今後も交通事故「ゼロ」を目指して地域のために努力をおしまない会長には、お元気で末永く交通安全会をリードしていただきたいと思っております。
(取材提供：加賀町交通安全協会)

インフォメーション

- 春の全国交通安全運動出陣式 (名称変更予定)
4月1日 赤レンガ倉庫広場
- 春の全国交通安全運動
4月6日~15日
- 道路交通の安全安心を考えるシンポジウム
4月8日 慶応大学日吉校舎
- 交通事故死ゼロを目指す日
4月10日 県内各地

こんにちは

「伊勢佐木交通安全協会」です

伊勢佐木交通安全協会は昭和23年10月に発足しましたが、その後、昭和51年1月伊勢佐木警察署の移転に伴い、署内の一角に事務所をお借りして現在に至っております。

当協会が受け持つ中区は横浜市の東端に位置し、その中区に4つの地区交通安全協会がある中で、西北部を担当しています。交通機関はJR根岸線、市営地下鉄線、京浜急行線の鉄道網が3路線整備されており、流行歌にも歌われ全国的にも有名な伊勢佐木モール街は、1丁目から7丁目までの1.5キロメートルにも及ぶ個性豊かな商店街、それと並行するように福富町、若葉町の大きな歓楽街は、昼夜を分かつ

ず賑わいを見せております。また、野毛商店街では、毎年テレビニュース等でおなじみの野毛大道芸が昭和61年から行われているほか、河川を埋め立てて造成した1.2キロメートルにも及ぶ長いユニークな公園では、年間を通して多彩な行事が開催されるなど、地域住民や県内外をはじめ外国からも多くの観光客等が訪れています。

免許人口は19,185名と県下でも少ない方ですが、伊勢佐木警察署のご指導の下、小島会長をはじめ役員、交通指導員等の方々とともに一致協力し、特に国道16号を中心とした交通事故の発生状況等交通事情を踏まえながら、各季の交通安全運動を通じてキャンペーンを展開するなどにより、過去11年の長きに



わたって交通事故を減少させることができました。

これも関係機関・団体等のご尽力の賜物と感謝していますが、これからも多くの方々のご協力を得ながら、地域に根ざした「交通事故のない安全で安心な街」を目指して、交通安全活動を推進してまいります。

(星 記)

地区交通安全協会の活動紹介

～交通街頭活動～



青葉
日体大体操部の田中理恵さんを1日署長に委嘱し、東急たまプラーザ駅前商店街で交通安全パレードを行い、交通安全意識の高揚を図りました。



鶴見
JR鶴見駅前及び同駅前商店街においてステッカーを取り付けながら「違法駐車(駐輪)追放」キャンペーンを実施しました。



高津
東急梶が谷駅前において、ハンドプレート掲げながら、飲酒運転根絶、運転中の携帯電話不使用など安全運転を呼びかけました。



横浜水上
大棧橋入口において、キーホルダー等の啓発グッズを配布しながら、飲酒運転根絶、自転車マナーアップなど交通事故防止を呼びかけました。



鎌倉
本覚寺境内で交通安全コーナーを設置し、初詣に訪れた参拝客に対し、チラシ、啓発物などを配布しながら、交通事故防止を呼びかけました。



宮前
東急宮崎台駅及び同宮前平駅周辺の飲食店に対し、チラシ、啓発物などを配布しながら、飲酒運転の根絶を呼びかけました。



小田原
小田原駅東口周辺の飲食店を訪問し、飲酒運転根絶トイレール紙などの啓発物を配布しながら飲酒運転の根絶を呼びかけました。



大磯地区
昨年の事故件数が統計上過去最少を記録、更なる記録更新のため、大磯署中庭で会長を点検者として交通安全出陣式、更に川勾神社で安全祈願を行いました。

あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

「3・11東日本大震災」の発生から二年が経過しました。「がんばろう日本」、「負けるな日本」を合言葉に、被災者の復興に向けての様子がメディア等を通じて伝わってきます。

一口に被災者といってもその様子は様々で、津波等により最愛の肉親等を失った人、生活の糧である家、仕事場等を失った人など、その心情は察するに余りあるものがあります。天災、ある意味では人災とも言われています。この災害で、多数の方々が亡くなられ、今なお行方が分からない方が多数いる状況です。「復興庁」が設立され、物理的な復旧、復興が本格化されると思いますが、心の痛みのケアに関する施策も講じていただきたいものです。

さて、三月は年度末で、仕事の締めくくりの時期であると同時に、卒業、転勤、退社など、人との別れの季節でもあります。

昨年一年間、本誌に「タイムマシンをあげたい(警察官から見た交通事故死亡事故の回顧録)」という交通事故死亡事故の短編を連載してきましたが、各方面から様々な反響がありました。「悲惨な交通事故による肉親との別れなど、自然と涙が頬を伝わってくる。」「交通事故死亡事故捜査を通じて家族等の辛い別れに直面する警察官の心情がよく分かる。」などの感想が多く寄せられました。

このコラムでは、交通事故を起こしてしまったことにより、人生の歯車が狂ってしまった人、最愛の家族を失い、深い悲しみに襲われ、これから生きる力を失ってしまった人など交通事故を巡るさまざまな人間模様が赤裸々に綴られています。私も交通安全活動に携わるものは、平和に楽しく暮らしている人々に、交通事故という人災で「悲しい別れ」を体験させないよう、日々交通安全を訴え続けていかなければならないと考えています。

新年度になりますと、元気に成長した子ども達が新しく幼稚園や小学校に入園(園)学してきます。こうした子ども達や家族に悲しい思いをさせないように新たな気持ちで交通安全活動に取り組んでいくにはありませんか。

(K.O記)